

慶應杯通信



2022.10月 柔友会報 第134号



柔友会報 慶應杯特集 “来たれ若人”

慶應義塾體育會柔道部

Vol. 20

第23回慶應杯開催中止にあたり

慶應義塾体育會柔道部
商学部4年 衣笠圭祐

令和4年8月頃に開催が予定されていた第23回慶應杯争奪柔道大会は、昨今世界中で猛威を振っている新型コロナウイルスの影響を鑑み、参加者の安全を考慮した結果、止む無く中止という形になってしまいました。

コロナ禍の前、平成最後の年に行われた前回大会では全国から中高合わせて60校から参加いただき、総勢460名を超える非常に規模の大きい大会となり、今大会もコロナ禍において約30校、150名の参加を予定しておりました。今後の大会の展望に明るい期待がかかっていただけに、大変申し訳ない気持ちでいっぱいです。

令和最初の慶應杯を成功に収める為、私たち慶應杯実行委員は運営に力を注いできました。しかし、今回の大会開催中止という結果が、私たちの努力を無駄にしたとは思いません。

学生が主体となって大会を計画し、運営、実行していく。その過程で得られる組織における行動力、自立力、といったものは損なわれず養われたと、そう感じています。

中高生の方々に試合を経験する機会を提供できず、慶應義塾体育會柔道部を知る機会が損なわれてしまいました。その事実を挽回するためにも、合同稽古の開催や本誌の発行のような「弊部を知っていただく活動」を絶やさず、誠心誠意行っていく所存です。

新型コロナウイルスの情勢次第ではありますが、来年は慶應杯を開催する予定であります。塾柔道部のさらなる発展のために、部員一同感謝の気持ちをもって慶應杯を作り上げていきたいと考えております。今後ともよろしく願いいたします。



「来たれ若人」

慶應義塾體育會柔道部

主将 杉村晃希

慶應義塾體育會柔道部の歴史は古く、その源流は明治10年まで遡ります。福沢諭吉先生のお声掛けにより、和田義郎先生が、塾生に柔術を指導し始めたのが起源とされています。福沢先生は、「知育・徳育・体育がバランスよく行われてはじめて理想的な独立自尊の人が形成されるのである」とお考えになり、「心身之順是柔道」という言葉を残されました。

塾柔道部の目的は、ただ柔道が強くなることではありません。我々は、「柔道修行を通じて、慶應義塾の信念でもある『気品の泉源、知徳の模範』を実践し、『全社会的先導者』たる人間になること」を目指しています。

現在は30人を超える部員が在籍し、週6回の練習に精を出しています。全国大会上位入賞者から競技歴の浅い者まで、全員が文武両道を目指し、日々の稽古に取り組んでいます。また、普段から幼稚園の生徒や偉大な先輩方と交流し、慶應義塾の縦の繋がりを強く感じることも我が部の特徴です。こうした多種多様な人材と、塾柔道部の一員としてともに活動し、そのなかで揉まれていくことは、人間的な成長につながると考えます。こうした環境は、他大学にはない塾柔道部ならではの素晴らしさでしょう。

最後に、このような環境で己を磨きたい、文武両道を体現したいという学生に対して、慶應義塾體育會柔道部は常に門戸を開いています。

「どんな団体よりもアツい4年間は塾柔道部にはある」と、私は4年間の学生生活を通じて強く感じております。

志ある皆さんと、ともに活動できる日を楽しみにしております。来たれ若人。



部員他己紹介

法 4 杉村晃希



一年次からチームの主力メンバーとして、塾柔道部を支えてきたこの男が、ついに最終学年を迎えた。彼は文武両道を体現しながらも、個人戦での勝利を追い求めるだけでなく、誰よりもチームの勝利を願い、努力を続けてきた。そして、そのような姿を見せることで、彼は部員を背中で引っ張ってきた。“チーム杉村”の集大成となる今年の早慶戦では、必ずや彼の努力は実を結び、4連覇を成し遂げられるはずだ。

経 2 小林謙太



塾柔道部の笑いのピンチヒッター。周囲からの愛称はジョン。急に一発ギャグを振られた時、最も輝く彼は、数々の笑いを生み出し、今では部内に欠かせない存在だが、3年間の男子校生活ブランクが続いているのか女性と面と向かって話すことができない弱点を持つ。まだまだ反抗期を貫く彼も遂に20歳になった。少しお酒が入ると想いが溢れて涙を流してしまう、そんな彼の柔道での活躍に筆者は期待を寄せている。

総 4 飯田竜生



名門南筑高校出身の正統派ジューダー、飯田竜生。塾柔道部一の二郎好きで、彼の体は二郎で構成されていると言っても過言ではない。また、甘い物が大好きというのは周知の事実だが、好きなケーキはモンブランと知っているのは筆者だけだろう。あまり口数は多くないが背中で語る熱い漢である。そんな彼だが、ついに最後の年を迎えた。強靱な体から放たれるキレのある内股でどんな相手も畳に沈めるだろう。大好きです！竜生さん！

法 2 成宮陸雄



黒い肌で筋肉質、そして寡黙な男、成宮陸雄。彼は常に何かを睨むような目つきをしている。最近彼は寝技を強化してきており、ひしひしと腕ひしぎ十字固めを狙い続けているからか、より一層鋭い目つきに感じる。一説によると、ポーカークフェイスである彼のたまに出る笑顔を目の当たりにした日は、幸運が訪れるらしい。強面な男ではあるが、その一瞬を見逃さないでほしい。

環 4 依田絃希



依田絃希。静岡生まれの勝負師である。磨き上げられた勝負勘からタイミング良く繰り出される左右の担ぎ技はキレ味抜群、数々の強敵を一撃のもとに仕留めてきた。研究会でも手柄を挙げるべく、後輩と共に奮闘しているらしい。常在戦場、さらなる高みを目指し、彼は今日もどこかで熾烈な戦いを繰り広げていることだろう。

総 2 澤田康太



ムキムキマッチョマン澤田康太。
週に9回のトレーニングから生まれた強靱な体を武器に、今や我が部の圧倒的エースだ。また、先輩後輩関係なく多くの人から好かれ、自然と周りに人が集まる能力も持っている。
顔良し、柔道良し、性格良し、天は彼に3物与えてしまった。羨ましい！

商 3 都倉吏輝



塾柔道部 No.1 筋肉量、巨漢のリキとは彼のことである。関西で磨き上げた内股で数々の強敵を投げ飛ばしてきた実力者でもある。その他にも後輩への適切なアドバイス、練習後の居残り練習、トレーニングへの熱意など非の打ち所がない漢である。そんな完璧な彼だが、UNIQLO のオンラインショップで T シャツを買った際に、間違えてレディース物を買ってしまうというお茶目な一面を持つ。個人的には隠し芸として、タップダンスをマスターして欲しい。

法 4 小野佑眞



塾柔道部きつての熱血漢小野佑眞。人懐こい性格で先輩からは可愛がられ、同期からはいじられ、後輩からは慕われている。この一年間は明晰な頭脳とみんなから愛される人柄を活かして、主務という責任重大な役割を全うし、円滑な部運営に尽力してきた。そんな誰よりも塾柔道部を愛する漢が満を辞して早慶戦の畳に上がる。度重なる膝の怪我にも決して屈さず、努力を続けてきた彼の活躍は全部員の悲願である。頑張れ佑眞さん。

商2 藤井大志



「闘士」、そんな言葉が彼には相応しいだろう。神奈川県覇者の称号を胸に入部してきた彼は、今や塾柔道部の60kg級大エース。キレキレの背負投に、バキバキの躰。更には、ネチネチな寝技も併せ持つオールラウンダーだ。漲る闘志を顔にし、誰にも臆せず、ひたむきに稽古に励む彼の姿はまさにファイター、闘士そのものだ。とはいえ、普段はたっぷりの愛嬌を振りまく好青年、かわいい一面も散見される。おっと、「かわいい」は禁句だったようだ。。

商4 ピーターセン理皇



誰かのお土産があると必ず手一杯に持っていくイケメン男子。ピーターセン理皇。僕は塾高生時代本気でピーターパンだと思ってました。そんなピーターさんは慶應義塾幼稚舎から慶應義塾湘南藤沢高校、慶應義塾大学という最高にエリートな経歴を持つ。柔道では怪我に苦しめられたが絶え間ぬ努力の末、恵まれた体格に加え課題の体力面も克服し全学出場を果たした。怪我の功名とはこのこと。今となっては塾柔道部大エースの1人である。カッコいいです！ピーターさん！

総2 櫻井湖太郎コリー



名門北越高校から塾柔道部の門を叩き2年。彼の強みは相手を翻弄する豪快な組手と、威力抜群の隅返である。この得意の形で昨年早慶戦で大活躍を見せると、新体制になってからは団体戦のメンバー入りも果たすなどノリに乗っている男である。柔術を習いに行き苦手としていた寝技を克服した彼に死角はない。

経3 望月あかり



この3年間塾柔道部の一員としてチームを盛り上げてきた凄腕マネージャー望月あかりさん。どの学年からも愛されるフレンドリーさ、留学生達と難なく話す英語力にコミュニケーション力、最近では道着を着て柔道さえこなしてしまう彼女には本当に圧倒される。巷では早慶戦選手を狙っているのでは無いかと噂されるあかりさん、そんな彼女も来年はマネージャー陣を引っ張る存在になる。そんな彼女の今後に目を離せない。

商2 南雲宥位



普通部、塾高柔道部、大学柔道部と、慶應歴の長い彼、場を和ませるプロである。どんな人ともすぐに打ち解ける才能を持つ。90kgの身体で派手に投げる柔道スタイルの豪快さと、櫻坂の大ファンというかわいさを持ち合わせる(彼の前では、絶対に坂道グループの名前を間違えてはいけない。すぐにツッコミを入れてくるから)。そんな南雲、これからも柔道部で活躍してくれること間違いなし。頑張れ!

商4 衣笠圭祐



塾柔道部内で僅か2人になってしまった埼玉ジュニアのひとり、衣笠圭祐。六徳舎の寮長でもある彼は、「きぬ、きぬさん」の愛称で慕われている。後輩に優しく、筆者にもよく愛のあるパワフルなスキンシップを仕掛けにやってくる。怪我に悩まされ、練習中痛そうにうずくまっている彼の姿をしばしば見かけるが、不屈の闘志で立ち上がり相手に向かっていく気持ちの強さは誰にも負けない。引退まで残り僅かだが、最後までチームに貢献してくれることだろう。

商3 高圭佑



部員日誌や推しバンドのライブ、ゼミに全てを懸けている高圭佑。どうやら最近では最高学年に向けて本業の柔道にも命を燃やし始めた。強烈かつ繊細な小内刈りや内股を中心とした彼の柔道は、サッカー選手のロナウジーニョを模しているらしい。よく理解できないが、皆が翻弄されているのは事実である。塾高、古賀塾育ちの高の今後の活躍に期待したい。

環4 須永廉也



塾柔道部の中でもピカイチの運動神経と柔道センスを持ち合わせる技巧者廉也さん。破壊力抜群な技の流れに乗ってしまえば最期、重量級だろうが関係なく皆宙を舞う。名門朝飛道場出身のポテンシャルは本物であり、自分自身の妥協を許さない彼に対する部員からの信頼は厚い。

昨年の早慶戦では出番が回ってこず不完全燃焼となったが、更なる飛躍を遂げた今年の彼の燃える闘志は量をも焼き尽くしてくれるだろう。

経 2 土屋文乃



朗らかな笑顔でいつも部を明るくしている彼女。稽古でのサポートは勿論、部の会計という重大な役割も完璧にこなす敏腕マネージャーだ。趣味は相撲観戦。「体重3桁じゃなければ男じゃない」というセリフを残し、小柄な部員たちを驚愕させた。体重は足りずとも試合で活躍して彼女に男として認めてもらえるよう、皆日々の稽古に励んでいる。

法 3 細谷颯太



週6日の柔道と並行し、ゼミ、バイト、遊び、何もかも全うしている彼を見ていると、器用で羨ましいなと心底思う。誰にでも優しく落ち着いていて、己にはストイック、そしてオフモードは面白いのが細谷颯太だ。彼のことを悪く言う人は見たことがないが、あまりのバランスの良さに、嫉妬を覚えている部員も多いのではないだろうか。もうすぐ最高学年を迎える彼にとって、ここからは勝負の一年だろう。そんな彼の活躍には、今まで以上に注目したい。

法 2 猪熊彩



柔道部のアイドル的存在彩ちゃん。名字のかっこよさとは対照的な持ち前の愛嬌とコミュニケーション力で部員全員は彩ちゃんの虜になっている。彼女は一方で名門法学部政治学科に所属しながらも、柔道の授業に参加したり、バンドを組んでドラムを叩いたりと力を注ぐ幅は留まるところを知らない。また、何故かは知らないが部員日誌のタイトルを食べ物の名前にしている面白い一面も持つ。魅力満載の彩ちゃん、これからも柔道部を支えてくれることは間違いない。

経 4 森井浩太



塾柔道部で一番のコミュニケーション能力を持つ男と言え、そう、森井浩太だろう。いつもムードメーカーとして部を盛り上げてくれる。ふくととじろうの二匹の超可愛い犬を飼っており、愛犬家としてのイメージも強い。そんな彼は試合になると普段のこやかな様子とは一変、得意の大外刈を中心とした威力抜群の鋭い足技を見せる。彼のこれからの活躍にも乞うご期待。

法2 進士凱一



語学堪能、容姿端麗と言えばこの男。

大学から柔道を始めた彼は、初心者とは思えないセンスの高さで現在急成長中。貪欲に前に出る彼の柔道スタイルは皆を圧倒する。そんな彼も道着を脱げば純粹無垢な少年。恋多き男で、よく恋バナをしてくれる。現在、とある女の子と良い感じだとか。。そんな柔道にも恋愛にも貪欲な凱一の今後の活躍に目が離せない！！頑張れ凱一！！

商3 平山雅士



平山雅士、柔道部の皆さんに愛されている男です。平山さんを一言でまとめると「勤勉」と言っても大げさではないでしょう。私生活には、公認会計士という最難関の試験の勉強をされていて、たたみに踏み込むと彼は背負い投げをマスターするために日々の稽古に励んでいます。柔道だけではなく、将来の夢のために勉強にも時間を捧げているところが他人に尊敬されるべきだと考えます。

環4 石川梨夏子



女子チーム主将、大エースの通称ピピ。ハムスター好き、甘い物好きとキューティフル女子のピピさんだが、畳に上がると一変。えげつない角度まで上がる足によって放たれる超強力な内股に破壊力抜群の大外刈は男子選手をも畳に沈める。極めつけには関節を取られても顔色一つ変えない程の柔軟性を持っており、彼女を捉えることは不可能に等しい。ストイックに努力し続ける女子主将の集大成に目が離せない。

文2 松永蓮太郎



凄まじい粘り強さで必ず一本をとる寝技とオタクを身体全身で表現したファッションが特徴の松永。自分を極限まで追い込み、毎日の練習に真摯に取り組む姿を見ると、彼が結果を出すのはそう遠くはなさそうだ。後輩の面倒見もよく、部員全員から親しまれている。

そんな彼には、少し不思議なところがある。練習前のアップでは奇怪なダンスを踊り、練習中ではよく奇声をあげながら人を投げている。これが強さの秘密なのかもしれない。

絵 4 和田奈那



過酷な柔の道に咲く花こそがこのマネージャー、和田奈那先輩である。彼女は塾柔道部におけるビジュアル担当と言っても過言ではない。また、マネージャー達を取りまとめる姉御肌も持ち合わせており、オールマイティな女性である。縁の下の力持ちを目指して塾柔道部に入部したそうだが、今や部にとって不可欠な存在となっていることは言うまでもない。そんな和田先輩は恋愛のプロフェッショナルでもある。恋のお悩みがある方は是非相談してみると良い。

法 2 野上恭平



名門慶應義塾高校出身、爽やか好青年の野上恭平。いつも穏やかな笑顔を振り撒き、先輩後輩誰からも好かれる彼は、ヨジャドルを愛し、サングラスに愛された男である。そんな彼だが、道場に入ると表情は一変し、眼光鋭く、俊敏な動きで次々に相手を投げ飛ばす。休むことなく声を出し、ストイックに練習に取り組む彼の姿に感化される者も多いだろう。努力家な彼の今後の活躍に大いに期待している。

環 3 須永陸也



パワーだけでなく、長い手足を巧みに使った技巧派な一面を持つ男である。その技術は柔道にとどまることを知らない。私生活でも巧みな話術と整った顔立ちを活かし、充実した日々を過ごしているようだ。著者は同じ職場でバイトをしているが、その甘いマスクに多くの女性客が集まっている風景を何度も目にしている。幸せな漢、須永陸也のこれからの活躍に目が離せない。

新入生自己紹介

総 1 井口虎太郎



出身校：暁星高等学校

階級：81kg 級

段位：弐段

趣味：韓国ドラマ鑑賞

高校時代はコロナもあり柔道が消化不良で終わってしまった分、大学では恵まれた環境でチームに貢献できることに感謝し、いち早く先輩方に追いつけるように精進していきたいと思います。また年々減り続けている AO 合格者獲得にも AO 合格者として恩返しのできるつもりで尽力していきたい所存です。

商 1 入道隼人



出身校：慶應義塾高等学校

階級：73kg 級

段位：弐段

趣味：探しています。

大学という自由な環境は自分次第では自らを追い込み、成長出来る恵まれた環境であると共に楽に過ごそうと思えば幾らでも楽に過ごせる、ある意味 1 番厳しい環境と私は思います。自分を成長させるべく、1 日 1 日を大切に過ごし、塾柔道部に 1 つでも多くの勝利を収められるよう精進致します。ご指導ご鞭撻の程宜しくお願い致します。

総 1 酒井ひろの



出身校：淑徳高等学校

階級：57kg

段位：弐段

趣味：美味しいご飯を食べること

塾柔道部の一員になれて嬉しく思います。今は練習についていくので精一杯ですが、先輩方や先生方から多くのものを吸収し成長したいです。大学での目標は全国大会で団体優勝・個人出場です。また、早慶戦も一年生から活躍できるように頑張ります。ご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願いいたします。

総 1 島田智宏



出身校：東京都市大学等々力高等学校

階級：100 kg 級

段位：無段

趣味：読書、映画鑑賞

これまで柔道の経験がなく、スポーツ歴としてはサッカーや陸上をやっておりました。初心者として、積極的に教を乞い、自他共に成長できるような環境づくりに貢献して参ります。その為、何事にも妥協せず常に全力でもの事に取り組む姿勢を部活内外でも体現していきます。精一杯頑張りますので、ご指導ご鞭撻の程何卒宜しくお願い申し上げます。

商 1 土屋実里留



出身校：慶應義塾ニューヨーク学院

趣味：お菓子作り、アニメ、ディズニー、K-pop

高校時代はバレー部のプレーヤーと水泳部のマネージャーを務めておりました。この経験を生かし、全力でプレーヤーの皆様をサポートしたいです。マネージャーとして与えられた仕事に責任を持ち、常に自分には何ができるのか・どのように行動すれば役に立つのかを考え、皆様が練習に集中できる環境を作っていきたいと思っております。よろしくお願い致します。

総 1 坪根和海



出身校：敬愛高等学校

階級：48 kg級

段位：弐段

趣味：大好きな人や物の写真を撮ること

自身の強みである、コツコツ努力することと粘り強さに加え

頭を使った柔道ができるようになり、全国大会に出場、活躍できるように1日1日を大切に日々精進していきます。また、学業にも手を抜かず、真の文武両道を体現できるように、努めていきます。ご指導ご鞭撻のほど宜しくお願いいたします。

法 1 西木沙耶加



出身校：修猷館高等学校(福岡)

階級：63kg 級

段位：弐段

趣味：モータースポーツ観戦意気込み

福岡県では、勝ち上がるのにかなり苦労した覚えがありますが、東京ではもっと厳しいようです。ですが、高校時代での全日本ジュニアベスト8の成績を上回るよう、慶應義塾大学での学びを大切にしながら慶應義塾体育会柔道部員の一人として、ひとつでも多くの試合で結果を残せるよう日々精進して参ります。応援の程よろしくお願い致します。

第73回早慶対抗柔道戦

商学部3年 都倉吏輝

塾柔道部員なら誰もが憧れる夢の舞台「早慶戦」。男子史上初の三連覇、女子初優勝を狙う慶應。男子は昨年のリベンジに燃え、女子4連覇を狙う早稲田。今年も世紀の一戦の火蓋が日吉柔道場にて切って落とされた。

そして迎えた女子先鋒戦。石川（慶應）が猛攻を仕掛けるが、出口（早稲田）の巧みな組手を前に攻めあぐねるといふ展開が続き引き分けに終わる。続く次鋒戦。栗田（慶應）が長い手足を活かして果敢に池田（早稲田）の奥襟を狙うが、一瞬の隙をつかれ、横四方固めで一本負け。早稲田に先制を許す。続く副将戦。小柄な五十嵐（慶應）が体格差のある尾崎（早稲田）の猛攻を巧みな組手と試合運びで捌きながら、チャンスを伺う。尾崎の攻めが緩んだ刹那、五十嵐の大内刈りが炸裂。技ありを奪う。その後も落ち着いて時間を使い、五十嵐が勝利。慶應にとって大きな一点。五十嵐の勝利で得た勢いそのままに、大将山室（慶應）が序盤から猛攻を仕掛けるが、下村（早稲田）も気迫のこもった組手で応戦。拮抗崩れぬまま1分が経過したそのとき、組際に山室が逆一本背負いを仕掛ける。完全に想定外の攻撃に下村たまたま一回転。山室が技ありで先制。その後も冷静な試合運びで山室が下村を完封。慶應の初優勝が決まる。

続く男子。初戦となる先鋒戦は拮抗した試合展開が続く中、松永（慶應）が攻め、中島（早稲田）が凌ぐという様相を呈し始めた頃に時間一杯。続く次鋒戦は、久野（慶應）が四年生らしい手堅くそのつけない柔道を見せ、豊澤（早稲田）から小外刈りで一本勝ち。慶應が先制。負けじと飯田が久野を抜き返すも、森井（慶應）が引き分け、スコアはタイ。拮抗する試合展開が続くと思われたが、慶應5人目古澤が大車輪の活躍を見せ、試合の流れを決定づける。古澤は初戦の尾上を内股、続く角田を合技に下すと、工藤も内股一闪。一気に三人を抜き去る。横山も厳しい組手と巧みな試合展開で完封し、四人を消費。慶應に圧倒的リードをもたらす。高山が三人を抜き返すなど、早稲田も反撃を試みるが慶應優勢の流れは変わらず。その後もエース杉村の活躍などをテコに慶應が徐々に大将に迫る。後がない早稲田は副将仲島の鮮やかな内股透かしで一矢報いるも、今浪（慶應）が仲島を隙のない柔道で完封。迎えた大将戦、慶應15人目の大野が早稲田の大将百瀬と引き分け。男子第73回早慶戦は慶應の五人残しでの勝利で幕を閉じた。慶應は史上初の三連覇・男女アベック優勝を達成し、チーム中内・山室は有終の美を飾った。

偉大な四年生の引退と共にチーム杉村・石川が始動する。慶應柔道部の躍進は止まらない。



2022年度全日本学生柔道優勝大会

総合政策学部4年 飯田竜生

2022年6月25、26日に日本武道館で行われました、令和3年度全日本学生柔道優勝大会のご報告をさせていただきます。以下に試合結果を記載させていただきます。

<1回戦>

本塾 6-1 東亜大学

<2回戦>

本塾 4-0 東海大学九州

<3回戦>

本塾 0-2 日本大学

東京都予選で宿敵早稲田大学に敗北し、課題を見つめ直しチーム杉村でベスト8を目指し挑んだ試合であった。

初戦は東亜大学との対戦。先鋒の依田が袖釣込で豪快に決めると、続く都倉、飯田、森井、杉村、松永もそれぞれ一本勝ちを納め、6-1と完勝し、次の試合へと駒を進めた。

続く二回戦目は東海大学九州との対戦。五将の都倉が優勢勝ちをおさめると、続く杉村、ピーダーセン、森井と勝利し4-0で危なげなく勝利を取めた。

三回戦目の相手は、昨年度の尼崎で行われた体重別団体で敗退した日本大学でした。先鋒、次鋒、五将と引き分けが続き、両者一步も譲らない、しかし、続く中堅、三将と破れてしまい、リードを許してしまう。後がなくなってしまった本塾は、副将のピーダーセンが強豪相手に気迫ある猛攻を仕掛けるも引き分け。一矢報おうと大将森井も試合に臨むが、引き分けに終わり0-2という結果で終わった。

念願のベスト8という目標は達成できなかったが、東京都学生での宿敵早稲田の敗北から「負けない柔道」をチーム杉村として取り組んできた。その練習の成果がはっきりと現れ、希望の光を垣間見ることのできた試合であったと思う。この経験を生かし、早慶戦優勝を達成できるように精進していきたい。



2022年度全日本学生体重別団体

環境情報学部4年 須永廉也

<1回戦>

本塾 2-4 岡山商科大学

一日目、初戦の相手は中国四国地方一位通過の岡山商科大学。試合が始まる。先鋒が失点したものの、次鋒の都倉が執念の攻めを見せ指導3での勝利を掴む。続く主将の杉村も貫禄の内股で一本勝ちを収め、リードを広げる。中堅を引き分けリードした状態で後半戦に入るが、五将と副将が続けて失点。逆転を許してしまう。一本勝ちしか後がなくなった大将戦、開始10秒で技ありを奪うなど気迫の攻めを見せたものの、投げ技を仕掛けた際に不運の指導をもらうことになり、敗戦。2-4という結果で終わり、一回戦敗退となった。全日本学生柔道優勝大会でベスト16に終わり、個人戦でも入賞者を出せなかった今年は、例年以上に今大会にベスト8という目標に対し強い想いをかけて臨んだ。しかし、念願のベスト8という目標は達成できなかった。各々やチームとしての課題が明らかとなった。反省を生かし、続く早慶戦に向けて稽古に励んでいく。



2022年度全日本学生柔道優勝大会体重別個人

商学部4年 ピーダーセン理皇

私は100kg級で東京予選をなんとか勝ち上がり、念願の全日本学生柔道体重別選手権に出場することができました。最高学年での目標の一つとしていた舞台であり、人生初の全国大会ということもあって出場を決めた時は喜びでいっぱいでした。大学入学当初の私からすると信じられないレベルの大会であり、大学での練習は間違っていなかったのだなと実感することができました。

そして迎えた試合当日。対戦相手は東海大学の鈴木直登選手。昨年全日本ジュニアを優勝しており、来年の東海大学のキャプテンではないかと噂されている選手です。試合開始1分30秒で相手の組手に翻弄され、潰れかけたところを盛大にバックで返され一本負け。何もすることができませんでした。いままでも通用していた組手や技が通用せず、全国大会の高い壁と私の実力不足を痛感した試合となりました。

それでも、今回優勝した熊坂と東京都学生で、準優勝した鈴木直登と全日本学生で試合をすることができたのは、私にとって大きな糧となりました。この経験を通して見つけた反省点や改善点を活かし、残りの団体戦で勝利に貢献できるよう、気を入れ直して練習に励みたいと思います。

2022年度東京都学生柔道体重別選手権大会

商学部2年 藤井大志

東京都学生柔道体重別選手権大会、通称・都学。全国大会につながる数少ない大学の試合で柔道部ビッグイベントの一つです。

僕の都学は2週間前から始まります。減量です。僕は60kg級に出場するために、7キロの体重を落とす必要があります。そのために真夏の最中、柔道着の下にヒートテックインナーを着ての練習、ランニング、徹底した食事管理、サウナに長風呂といった様々な方法で体重を落としていきます。都学前は減量中の選手達の「あと何キロ？」という声が飛び交い、それを聞いて焦ったり安心したり。そうして、無事前日計量をクリアし、次の日の試合に備えメンタルを整えていきます。

そして、試合当日。会場は日本武道館。天高く掲げられた日の丸の旗と囲い込むような観客席に気圧され、いつも以上に緊張したのを覚えています。加えて僕は第1試合目。緊張MAXでした。気合いを入れ勝つぞという気持ちと緊張による不安でそわそわしているうちにあっという間に試合が始まりました。試合本戦の4分間は膠着状態。しかし、ゴールデンスコアが始まってすぐでした。相手に一瞬組み負けたところに内股をかけられて技あり。結果は1回戦負けでした。自分が本当に情けなく感じたと同時に東京のレベルの高さを改めて痛感させられました。

あと2年間という短い期間で結果を残すためには今まで以上の努力が必要不可欠です。塾高の古賀先生にも命をかけて試合に臨めと助言を頂きました。来年に向け貪欲に命懸けで頑張ります。



2022年度東京都ジュニア柔道体重別選手権大会

法学部法律学科1年 西木沙耶加

7月10日東京武道館にて東京都ジュニア柔道体重別選手権大会が行われました。私は、昨年と同様に全日本ジュニア柔道体重別選手権大会に出場することを目標として大会に挑みました。高校時代は70kg以下級での出場だったため57kg以下級で大会にエントリーすることに不安もありましたが、私自身の柔道スタイルを良い方向に変えるチャンスだとも捉えていました。

結果は、ベスト8で全日本ジュニア柔道体重別選手権大会への出場権は獲得できませんでした。当日の調子は良く大会に向けて大幅な減量をしたこともあり、非常に悔しい思いをしました。減量期間には、4年生の石川梨夏先輩が食事面やリカバリーの仕方を教えてくださり、さらには夜遅くまで道場に就いて運動する時には練習後に一緒に残ってくださいました。福岡を離れての新生活で頼れる人がまだいなかったため、先輩の心遣いや温かさに感動しました。

11月には早慶戦が控えています。応援してくださる人や共に稽古を乗り越えてきた仲間のためにも本大会での敗戦を無駄にすることなく、稽古に励んでいきます。

今後とも応援の程、よろしくお願い致します。



2022年度新入生勧誘活動

文学部2年 松永蓮太郎

今年はコロナ禍ということもあり、新歓活動は難航を極めました。四年生を中心に他団体との協力をしつつ、塾柔道部で活躍できる人材を求めSNS投稿やチラシ配りに力を入れていました。

広報部門のメンバー全員が意見を出し合いながら新入生を迎え入れようとする姿勢に、今年の部のスローガンである「総力戦」を感じることができました。

その結果あってか、今年は新たにマネージャー一名、選手一名が未経験の状態仲間に加わることとなりました。二人とも他の部員に負けず努力家で大変頼りになります。

また、広報部門から二名が部の運営や魅力の伝え方を学ぶために「leap」という会に参加し、新歓活動のみならず、部活動に大きく貢献してくれました。

まだまだ部員は募集中です。私たち塾柔道部員と切磋琢磨し素晴らしい大学生活を送りたいという方、大歓迎です。経験の有無は問いません。稽古中の真摯な姿勢にアットホームな雰囲気売りをする塾柔道部に是非足を運んでみてください。

一貫校

商学部1年 入道隼人

塾柔道部の強みの一つとして挙げられるのが、先輩後輩の密接な関りがあり、いわゆる「縦の繋がり」が強い事であると思います。塾柔道部では毎年1月の頭、新年早々に寒稽古、7月に暑中稽古が早朝5時半から小学校である幼稚舎から、中学校である中等部、普通部、湘南藤沢中等部、高校の塾高、湘南藤沢高等部、現役の大学生、80歳近くのOB、OGの先輩方まで同じ道場で稽古をするという他の大学の柔道部ではほとんど見られない光景が見られます。他にも三田柔道祭や先輩稽古等、一同に会する稽古を先輩方に数多く行って頂いております。

講道館の教えに「三様の稽古」という教えがあります。簡単に説明をさせていただきます。自分よりレベルの高い相手、年長の相手に対して、正しく組み、正しい技を掛け、相手を本気で投げに行く「ぶつかり稽古」。自分より力が劣っている、年少の相手に対し、力でねじ伏せる事無く、正しく組んで崩し、作り、決めを確かめつつ相手を投げ、一方相手が掛けて来た技を受け止め、自分の技を磨きつつ、相手の技を引き立てる「引き立て稽古」。互角のレベルの相手とは自分の全てを相手にぶつけ、お互いに自分の技を磨き合う「互角稽古」。この3つの稽古を念頭に置いて稽古をする事を「三様の稽古」と呼びます。寒稽古や暑中稽古をはじめとした小学生から御年輩のOB、OGの方々が一同に会する稽古では、この「三様の稽古」を体現したもので他の大学では出来ない貴重な稽古と私は思います。

稽古の場面だけではなく、試合の勝利の為に資金面の援助を頂いたり、就職活動の御支援を頂いたり、中高生は一般の学生ではあまり聞けないような各学校の生の声が聞ける等、多くの場面で先輩の御力、後輩の力を借り、塾柔道部は成り立っていると思います。

現在の體育會柔道部という素晴らしい環境で学生生活に励んでいるのは必ずとしてOB、OGの方々の厚い御支援、我々学生が学ぶべき姿勢を常に見せてくれる後輩達の御陰と思います。周りの方々に感謝をし、後輩達に引き継いで行ける様、精進して参ります。



相撲

総合政策学部2年 澤田康太

相撲、日本の国技であり夕方にはテレビ放映もされる国民的競技。また、私が参加した東日本相撲選手権は靖国神社相撲場で行われる名誉ある大会です。助人という形ではありますが、とても光栄でした。

相撲の世界で勝敗が決まるのは一瞬です。足以外の部位をつけてはいけない、土俵から出てはいけない、という厳格なルールの中で大男たちはたたかっています。自分の立会いが近づくにつれ不安と緊張感が高まってきます。立会いに失敗し、足を滑らせてしまったら負け。当たりどころが悪かったら怪我をするのは確実。柔道の試合と違い、試合開始直後に勝負が決まる緊張感に押しつぶされそうでした。私の戦略は立会い直後の相手の勢いを何とか耐え、廻しを下手で持ち、支え吊り込み足の形で投げようと考えていました。しかしながら現実はその甘くなく、立合いの衝撃を受け切ることが出来ずに押し出しで負けてしまいました。

己の未熟さを痛感する非常に良い機会でした。来年もし呼ばれることがあれば、勝利を掴み取ります。

環4 依田 (左)
総2 澤田 (右)



レスリング

総合政策学部2年 櫻井湖太郎 コリー

私は昨年度レスリング部の試合に助人として参加する為、體育會レスリング部の練習に参加させて頂いた。昨年はピーダーセン理皇先輩と共に練習に参加したが、コロナにより試合には出れなかった。個人的に中学生の時にレスリングを一時期習っていたので、試合に出れると聞き楽しみにしていたので残念だった。

しかし久しぶりにレスリングをすると柔道にも通じる学びは多かった。道着の様に掴むところが無いレスリングならではの寝技の攻防や、かぶり返しの様な捨身技は是非とも柔道で役立てたいものだ。その他にも柔道で禁止されているタックルなどの足取り技を練習させて貰えたのはとてもいい経験だった。

昨年は叶わなかったが、またいつかレスリングの試合に出るチャンスがあれば是非、レスリング部に貢献したい。また、今年の早慶戦は3年ぶりに足取りが許可される予定だ。レスリングで学んだ事を活かし、精進したいと思う。

寝技講習

商学部2年 南雲宥位

今年度の塾柔道部では選手の更なる強化を図るため、塾外の講師の方からも技術やトレーニングの指導をしていただく機会を設けています。その一環として夏休みから数回にわたり、朝飛道場出身の元柔道家で、現在はブラジリアン柔術や総合格闘技で活躍されている伊藤盛一郎先生に寝技の技術指導をして頂いています。

一言で寝技と言っても、柔術の寝技は柔道の寝技とは似て非なるものでした。ウォーミングアップや基礎の反復練習から、身体の使い方が全くの別物であり、多くの部員が非常に苦戦していました。技術講習では、十字固めや三角絞めといった基本的な技の入り方の様々なパターンの練習から、実際の試合でも使えながら、実際の柔道の試合で使っている人がほとんどいないような新しい技まで様々な技術を惜しみなく教えていただいています。非常に理論的でわかりやすく、かつ今まで知らなかったことばかりでした。

この寝技講習を通して部員の寝技に対する意識も変わってきており、習った技を積極的に寝技乱取りで試したり、立技の乱取り中も相手を投げた時や腹這いになった時にすぐに寝技に移行したりする選手がとても増えました。習った技術を試合で活かせるようこれからも部員一同精進して参ります。



日吉キャンパスの1日

経済学部2年 土屋文乃

日吉の駅前に位置する日吉キャンパスは、主に1・2年生が通っており、銀杏並木の広がる綺麗なキャンパスだ。授業は朝9時から始まり、18時に終わる。低学年の授業だけではなく、部活動やサークル活動の中心地ともなっているこのキャンパスは、とにかく人が多い印象だ。お昼時になれば、決して大きいとは言えない学食や、検温エリア、購買部、日吉駅周辺の飲食店など、あらゆる場所に学生達が行列を作る。また、キャンパスの中心に広がる銀杏並木は、一般の方々にも解放しており、慶應生に紛れて遊ぶ保育園の児童や、散歩をするご近所の方々などがあちらこちらで見られる。キャンパス自体が町に溶け込み、人で賑う、そんな光景が、日吉キャンパスの日常だ。

私自身は、週に3日、大学に通っているが、大抵朝7時~8時頃に起床し、朝食をとり、身支度を整えて大学へ向かう。1コマ90分と長い授業では、今日こそ真剣に講義を聞いて、時間内で理解を深めようと意気込み、大抵前方の席に座るのだが、授業も後半となってくると、お尻が痛い、眠いなどの邪念が生まれ、自分を奮い立たせる必要が出てくる。授業の合間の隙間時間は、課題をこなしたり、部活の雑務を行ったりする。大抵、道場や図書室などで過ごしているのだが、授業の合間に道場を利用すると、なんだか家のように感じてくるのは私だけではないはずだ。

大学に行くのを億劫に感じることもあるが、三田に移動したくないくらい、私は日吉キャンパスが大好きだ。朝一番に、綺麗な銀杏並木を登るのは非常に気分が良く、自然と元気を与えてくれる上、立地の面でも文句なしだ。私のお気に入りのキャンパス、日吉キャンパスへ、是非多くの人に足を運んでもらいたい。



三田キャンパスの1日

法学部法律学科3年 細谷颯太

6:30 起床。寝起きは悪い。
 7:00 トレーニング。本日は1限のため、近くの階段を走る。
 7:30 シャワーを浴びて、寮の朝食を取る。寮を出てキャンパスに向かう。
 9:00 一限開始。会社法を3時間連続で受ける。中々ハード。
 12:15 昼食。三田二郎に並ぶ。最高の一杯。
 14:00 寮にいったん帰る。30分昼寝。
 14:30 ゼミの準備をする。この時間にタスクをする。
 15:50 寮出発。練習へ。
 16:30 練習開始。今日は5分の5本2セットメニュー。
 18:30 練習終了。綱を登って帰る。
 19:00 寮到着。夕食、風呂、洗濯を済ませる。
 20:30 練習の反省、英語勉強、読書、ネットフリックスなど自由な時間。
 23:00 就寝。7時間以上は睡眠時間を確保したい。



SFC キャンパスの1日

環境情報学部2年 須永陸也

昨年に引き続き、今年も SFC キャンパスの1日について書かせていただきます。

8:00 起床。対面授業に向かうために用意をする。
 8:40 家を出る。SFC まで約40分かかるのであまり余裕はない。
 9:25 1限を受ける。2年間ほとんどオンライン授業だったので、対面授業は疲れる。
 11:00 授業が終わり、バスに乗る。
 12:00 時間を見つけて昼食をとる。基本はおにぎり。
 13:00 練習の1時間前までバイトをする。
 18:00 練習開始。平日は16:30から練習の日と、18:00から練習の日があるが、18:00からの日はお腹が空いてくる上、帰宅時間が遅くなるため次の日に疲れが残ってしまう。
 20:00 練習終了。トレーニングをする。この時間には外はすっかり暗くなっている。
 21:30 帰宅。このときには完全に疲れきっている。
 22:00 夕食、お風呂、歯磨きなどのやることを済ませる。
 23:00 課題に取り組む。眠気がピークに達しているため、効率はあまり良くない。
 24:00 就寝。遅い日は2:00ぐらいになる。



寮の紹介

法学部法律学科2年 成宮陸雄

慶應義塾大学柔道部の学生が生活する寮「六徳舎(りくとくしゃ)」は、先輩方のご好意により建てていただいた塾柔道部専用の学生寮で、地方出身者の他にも、自宅から通学できるが入寮したい学生など、希望すれば部員は誰でも入寮することが出来ます。“六徳”とは、礼・仁・信・義・勇・知の6つの徳のことで、柔道部での生活を通しこれらを身につけ、心身ともに立派な人間になれるようにという想いが込められています。

部屋は2段ベッドが2組ある4人部屋が5つに、会計室と学習室、全部員が集まれるほどの広さのリビングがあります。六徳舎での生活はいたって自由。食事は各自好きな時間にとることができ、門限もありません。先輩後輩分け隔てなく、共にご飯を食べ、風呂に入り、時には寮生全員で料理を作ったりして、楽しく有意義な共同生活を送っています。

この共同生活の中で、私たちは様々なことを学ぶことが出来ます。寮に同じ学部先輩がいれば学校の授業や課題についての質問も出来ますし、英語などの資格試験の勉強のコツ、増量・減量の仕方、柔道の練習への取り組み方、柔道部の一員としての心のあり方などなど、挙げていけばキリがありません。

このような恵まれた環境で生活することができるのも、OB・OGの方々や家族のおかげです。ご恩を返すことができるよう、感謝の心を忘れず、六徳舎生一同精進して参ります。

渡邊勇人コーチによるトレーニング指導

経済学部2年 小林謙太

塾柔道部は今年からトレーニングコーチに渡邊勇人さんを迎えました。渡邊さんは東海大学出身で講道館杯優勝を2度経験し、現在は東海大学をはじめとする複数の大学でトレーニング指導を行なっています。

私たちは今年から渡邊さんの指導のもと、グループ毎に脚、背中、全身トレーニングを毎週行っています。さらにトレーニング日以外は組み力強化のため、道義懸垂に励んでおります。渡邊さんは月に3回ほど道場にお越し頂き、私たちのフォームチェックはもちろん、減量期の食事やトレーニング法も教えて頂いています。また、トレーニングだけでなく渡邊さん自身の経験に基づく練習前のストレッチや試合1週間前の息上げの仕方をご指導頂いております。

このように、柔道の稽古と同じようにトレーニングにも力を入れチームの底上げを行なっています。例年に比べ、部員が少ないですが、一人一人が力をつけ、昨年以上の結果を残せるよう精進して参りますので応援の程よろしくお願いたします。



マネージャー活動報告

総合政策学部4年 和田奈那

平素より大変お世話になっております。柔道部マネージャーを務めております、4年の和田奈那と申します。私からは、ここまでマネージャーを務めてきて考えた、「慶應義塾體育會柔道部マネージャーの魅力と、マネージャーに向いている人」について書きたいと思います。

・「他者を尊重できる人」

これは柔道部マネージャーの魅力でもあり、マネージャーに向いている人の特徴でもあります。弊部のマネージャーは、地方出身者から慶應NY校出身者まで異なるバックグラウンドを持つ仲間が集まっています。価値観もひとりひとり違いますが、各々が他者の考えに前向きな視点を見出しながら活動しています。他者を尊重することは、時に難しいこともあります。しかし、生まれ育った環境が違う人たちと密接に関わっていく4年間の活動の中で、他者を受け入れる自分自身をつくり、育てていくことができる。そのような素晴らしい環境が柔道部、そして柔道部マネージャーの中にはあると感じます。

・「一度始めたことを最後までやり抜く力がある人」

楽しいことばかりではないのが體育會での活動だと思います。そのため、辛い時、苦しい時を乗り越えて、もちろん楽しむ時は心から楽しんで、柔道部の活動における出来事の全てを自分の人生の糧とできる人はきっと、4年間の部活動を良いものとするはずで。柔道部は楽しいイベントもたくさんあるので、そちらは入部してからのお楽しみに！ということで。

・「細かな気遣いができる人」

マネージャーの仕事は表立って行うものではなく、基本的には書類作成やドリンク作りなどの裏方業務が中心です。その活動の中で、たとえば、夏の猛暑の日は汗をたくさんかくのでドリンクを少し濃く作って塩分をとってもらったり、書類作成の時は主務が分かりやすいようラベリングやファイリングをしたり。そのような細かな気遣いができる方は、とてもマネージャーに向いているのではないかと思います。また「私は目立ったりするのは得意でないけど、人を支えたり、頑張っている人を応援するのが好き！」と思う方がいれば、ぜひ弊部への入部を考えてみてください。

マネージャーについてここまで大まかに三つのことを書かせていただきましたが、少しでも柔道部の活動に興味がある方がいらっしゃいましたら、ぜひ一度日吉道場に足を運んでみてください。きっとみなさんに、柔道部の暖かな雰囲気と良さを感じ取っていただけるのではないかと思います。私たちはいつでもみなさんをお待ちしております！



女子チーム

環境情報学部4年 石川梨夏子

こんにちは。女子主将の石川梨夏子です。4月最初の時点では2人だった女子チームは福岡からの期待の新人2名が加わり、現在は4年生1名、1年生3名の計4名となりました。人数は少ないですが、練習ではお互いが意見を言い合い、技術力の向上に努め、練習外では先輩後輩関係無く、仲良くワイワイしております。

最近では、新型コロナウイルスの影響で行くことが出来なかった出稽古も少しずつ行けるようになり、他校の強い選手と練習をさせていただく機会が増えてきています。そして出稽古でうまくいかなかったことを日吉で研究したり、男子部員に稽古をつけてもらうことで身体的に強くなったりと、素晴らしい環境で着実に力をつけております。

今年度は全日本学生三人制団体で準優勝と目標以上の結果を残すことができましたが、あと一步のところまで日本一に届きませんでした。少人数だからこそその良さを活かし、残す早慶戦では2連覇を目指して精進して参ります。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



戸狩合宿

法学部法律学科4年 小野佑真

今年度は、実に3年ぶりとなる「戸狩合宿」が開催されました。長野県飯山市戸狩野沢温泉周辺にて行われたこの合宿には、本塾・日体大・法政大・塾高・日体大荏原・成城高が参加し、日々稽古に励みました。コロナ禍以前は約4泊5日の日程で参加していた塾柔道部ですが、今年は7泊8日とフル参加をし、非常に実りのある時間を過ごすことができました。

稽古は3チーム構成（選手・2軍・3軍）で行われ、立技・寝技・トレーニングを午前・午後の二部練習で行いました。稽古には、古賀颯人先生や杉本大虎選手、原田健士選手など現在の日本トップクラスの選手も参加し、部員一同、日々の日吉での稽古とはひと味もふた味も違う、刺激のある稽古をさせていただきました。また、合宿最終日には、（感染対策を徹底しながら）部員全員でBBQを行い、ささやかながら、疲れ切った心身を皆で慰勞しました。

私にとって、この戸狩合宿は学生最後の合宿となりました。普通部の時に行った小諸合宿、塾高の時から5回行った戸狩合宿。柔道部の夏合宿というのは、どれも本当にきつく、逃げ出したくなることも多々ありました。しかし、今だから言えることではありますが、これらの経験は、本当にかげがえのない、人生の「濃密なワンモーメント」であった、と思っています。合宿というものは、柔道の技術を磨き、心身を鍛えるのはもちろんのこと、部員同士、先輩後輩と仲を深める機会でもあると思います。コロナ禍という何もかもが制限されるご時世の中、このような大変貴重な機会を得て、無事に遂行することができたことを、本当に嬉しく思います。これからもこの戸狩合宿が末永く続くことを祈りたいところですが、そんなことをいうと現役にこっぴどく怒られてしまうので黙っておきます。

戸狩合宿開催にご尽力くださいました、保護者の皆さま、先生方、そして宿の方々におかれましては、心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。引き続き、塾柔道部を何卒よろしく願いいたします。



高尾山

商学部1年 土屋実里留

9月9日～9月11日にかけて行われた寮合宿の最終日、私たちは高尾山に登りました。1班4人～5人の計7班、学年はランダムな班割りでした。高尾山は急斜面が続き、想像以上に汗をかき、体力を有するものでした。しかし、後輩のことを気にかけてくれる先輩方の頼もしい大きな背中を見ながら無事、楽しく登頂することができました。大変だった分、登頂した時に見た綺麗な空、澄んだ空気、登り切った達成感は普段の部活動では味わえない最高の瞬間でした。

何より先輩方と多くの時間を過ごせたことが良い思い出です。メンター以外で先輩とグループで行動する機会はあまりないため、とても貴重な時間に感じられました。高尾山から帰宅した後に六徳舎で行ったバーベキューも格別でした。普段道場で見える姿とは異なる同期や先輩方の一面を見ることができ、とても新鮮で楽しく有意義な時間を過ごすことができました。

夕方になり、解散が近づくと、私も先輩になったら今の先輩方のように頼れる存在になりたいと思うと同時に、また先輩方がいつまでも柔道部にいてほしいと寂しい気持ちにもなりました。

高尾山登頂を通じて、部全体の団結力が向上したと思います。



柔道と国際交流

法学部政治学科2年 進士凱一

今年度から、政府による緊急事態宣言の解除と緩和されている新型コロナウイルスの対策により、我が大学のキャンパス内に外国人が段階的に増している状況に至っています。有難いことにこの数か月間、柔道に関心を持つ留学生が何人か訪れ、柔道部に入部、もしくは共同練習を行うという貴重な機会がありました。慶應義塾體育會柔道部と最も緊密にかかわった留学生について紹介させていただきます。

フランスの名門大学「Institut d'études politiques de Paris」（パリ政治学院）出身のゴエップ・オスカー（20歳）が来校しました。彼の柔道歴として、フランスで19年間柔道をやっていました。66kg級で主に活躍しており、得意技は背負い投げです。彼は柔道が大好きです。彼が来日した主な理由は日本で学んだ技術やスキルをフランスにいる道場の後輩たちに教えるということでした。

また、我が部のメンバーたちそして部の全体としてより緊密な関係を築くために、六徳舎という慶應義塾體育會柔道部の寮に入寮しました。オスカーの日本語は不自由でしたが、私たちと同じ日常生活を送り、一緒に稽古することで、深い関係を築くことができたのではないかと考えます。彼がいたおかげで、フランスの柔道について詳しく知ることができましたが、それよりも柔道をコミュニケーションの手段としてオスカーと一人の人間として仲良くなることができたことが私は嬉しいと感じました。

慶應義塾體育會柔道部はこのように温かい姿勢で、いつでも留学生を歓迎しています。



柔道に触れてみて

法学部政治学科2年 猪熊彩

私は柔道経験者の家族の影響で、幼いころからよくテレビで柔道の試合を見たり、試合を見に行ったりしていました。そのため、柔道は身近なスポーツでした。しかし、これまで柔道を経験したことはなく、間近で柔道を見る、ということもありませんでした。

そんな私が初めて柔道を目の前で見たのは、塾柔道部の練習を見学させていただいた時でした。初めて目の前で打ち込み、乱取り、投げ込みを見た時の迫力は忘れられません。その後柔道部のマネージャーとして、また朝飛先生ご指導の授業で実際に柔道を実践する中で感じたことは、柔道は礼法がととも重要視されているスポーツなのだな、ということです。授業で嘉納治五郎先生が柔道を、単なる技術習得の道としてだけでなく、人間形成を図る道として位置付けたことを学びました。また、座礼、立礼について教えていただく中で、相手を尊重して敬意を払う気持ちが礼であり、それを表現した作法が礼法であるということも学びました。

単なる格闘技ではない、武道としての柔道の魅力を知りました。迫力のある乱取り、投げ技がかかる瞬間など柔道のかっこよさはたくさんありますが、それを引き立たせているのが、柔道の礼法ではないでしょうか。私も柔道に関わる人間として、塾柔道部で礼の精神を身につけることができるよう、精進して参ります。

初心者から始めてみて

総合政策学部1年 島田智宏

初心者として柔道を考察するにあたり、精神面と技術面の2つの見地に立つ必要があると考えた。

前者は、礼節の大切さである。競技におけるそれは、剣道や空手等の対人武道において同様に根幹を担うものの、柔道が特に重んじているのは競技外で1人の人として持つべき気遣いや配慮である。目上の方への言葉の遣い方がその際たる例として挙げられる。正しい敬語を扱う事に意識を向けることはスポーツの中でも特別な事のように感じている。

後者は、一言で表すならば、「脱力」である。「柔よく剛を制す」という言葉通り、自身の肉体の緩和を如何に相手のその緊張に合わせられるかが鍵となっている様だ。それを裏付けるように、柔道では体格差の影響が他の格闘技と比較して少ない。どんなに相手よりも体格的に劣っても負けないのは、脱力が大きく関係しているのではないか。脱力は受け身の際にも大きな役割を果たす。身体が強張った状態で技を受けると怪我をし易いだけでなく、何にも増して痛い。相手の力に無闇矢鱈に対抗しないことも必要なのだと感じた。

以上が私が初心者として考える柔道である。心・技・体の3つ全てが絶妙に相関した時、強くなるのではないだろうか。私自身まだ柔道を始めて3週間であるが、まずは受け身を徹底的に修練していく。その後は、組み手などの実践的な動きを通じて身体知を高め、自身の柔道を作りあげていきたい。

研究会と柔道の両立

商学部3年 高圭佑

こんにちは、商学部3年の高です。私の所属する商学部は、3学年への進級と同時に「経営学」「経済学」「商業学」「会計学」の4分野の中から専攻分野を1つ選択し、各分野の授業を履修していくシステムとなっています。その中でも、特定の学問に関して深く研究したい学生は、各教授の持つ研究会に所属し、卒業まで卒業論文の執筆もかねて研究することができます。

私は経営学フィールドの中でも「計量経営学」を専攻する佐藤和研究会に所属しています。現在は半導体製造装置業界というニッチな市場の中小企業に焦点を当て、組織を生かした経営戦略についてグループで研究しています。グループ研究以外にも統計演習やグループディスカッション、研究会OBとの企業研究など、授業だけでは体験できないような経験によって日々自分がアップデートされている実感があります。

夏休みには、大阪で行われる韓国の大学との合同インゼミや、静岡への研究会合宿といったイベントが行われました。日本各地から韓国までの多様な価値観に触れ、初めて会う人と二日間でコンペティションを完成させるという、これもまた貴重な体験をさせていただきました。

さて、體育會活動と研究会の活動の両立は果たして可能なのか、結論から申し上げますともちろん可能です。むしろ推奨したいくらいです。実際、現役の学生のほぼ全員が学部に関係なく研究会に所属し、専門分野について研究を行っています。忙しさは研究会ごとで多少異なる部分ではありますが、柔道と学業のどちらもないがしろにすることなく充実した学生生活を送ることができる、当部の魅力的なところであると確信しております。

この環境を支えてくださる皆様に感謝し、日々精進してまいりますので、これからもご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。



資格試験と柔道の両立

商学部3年 平山 雅士

私は、つい1ヶ月前の8月まで公認会計士受験生でした。公認会計士の知名度はあまり高くはないですが、実は三大国家資格の1つです。予備校に入り、勉強を始めたのは高校卒業直前でしたが、大学1年生の頃はほとんど勉強せず、本格的に力を入れ始めたのは大学2年生になる頃です。もちろん部活は週6であり、練習にも参加していました。例として、受験生時代のとある一日のスケジュールを書かせていただきます。

6:30 起床・準備 → 通学1時間 → 8:00~8:40 日吉でトレーニング → 9:00~10:30 リアルタイム授業
→ 10:40~10:50 マックで朝食 → 11:00~14:30 勉強 → 14:30~15:00 青蓮で昼食 → 15:00~16:00 勉強
→ 16:30~19:00 練習 → 19:30~21:30 勉強 → 帰宅1時間 → 22:30~23:30 夕食・入浴 → 23:30~0:30
大学の課題 → 0:30 就寝

公認会計士試験は大学との両立というだけでも大変ですが、部活もやるとなると、勉強時間を取ることが少し困難になるので、隙間時間をいかに有効に使うかが肝になります。そのため、私の場合は通学や帰宅の最中、電車の中や歩いている時でも、できる勉強をするようにしていました。また、私が大学1年生、2年生の頃はオンライン授業が主流だったということもありますが、その2年間は単位を一つも落とさずにいわゆるフル単を貫くことができました。

とはいえ、大学と部活をやっていたら合格するのは厳しいと思われるかもしれませんが、しかし、模試がある日や1次試験直前の2週間、2次試験直前の1ヶ月という練習の休みを頂くことができ、そしてなによりも大きかったのは、柔道部員が資格試験を応援してくれて、合格に向けて努力できる環境があったことです。このように、周りに支えられて試験は万全な態勢で臨むことができました。

結果として、今年の12月に実施された1次試験（合格率約10%）に一発合格することができ、そして、今年の8月に2次試験を受験し、現在結果待ちという状況です。最終的な総勉強時間は約3,700時間、勉強漬けの日々をようやく抜け出せると信じて合格発表日を心待ちにしていますが、結果は如何に。



通っていた予備校（TAC 日吉校） ↓



塾高入試と塾高柔道部

法学部法律学科2年 野上恭平

私は中学校で初めて柔道と出会いました。もともと祖父が塾生だったこともあり、小さい頃から慶應義塾に憧れを持っていました。もともと慶應義塾高等学校には一般入試での合格を目指していましたが、県大会で三位に入賞し関東大会に出場したこともあり推薦入試でも受験をすることを決めました。

推薦入試では一次試験、二次試験と2つの段階を踏まなければなりません。一次試験は書類審査でしたが、二次試験では対面での作文と、個人と集団に2回に及ぶ面接が行われました。個人の面接では志望動機や自分の今までの人生についての質問をされたことをよく覚えています。集団面接は、一つの議題について6人ほどで話し合う形式でした。私のときのテーマは「AIは発展させるべきか否か」という議題でした。大学生になった今でも様々な考えがあり難しいテーマだったと感じます。合格発表の日はいつもどおり学校に行き父に合否を確認してもらいました。今思うと一貫校である塾高では大学入試がないので、最初で最後である合格発表を自分の目で確認しなかったことに後悔しかありません。

そして幸せなことに塾高に入学することができました。塾高柔道部に入部すると高校の柔道のレベル、特に塾高の練習量の多さについていくことで精一杯でした。特に最初の三ヶ月は日々生きることだけを考えていました。

多くの刺激を受けることができる塾高でしたが、三年生のときにはコロナの影響でその活動に大きな制限を受けました。出稽古がなかなか行えない中、その年に塾高に来てくださった古賀颯人先生をはじめとする先生や、大学生のおかげもあり他の高校に比べとても良い環境で柔道をするのができたと思います。高校2年生まではあまりわかっていなかった塾柔道部という縦のつながりに感謝をすると同時に、今後私自身もそのつながりに貢献したいと思いました。



AO 入試に合格して

総合政策学部1年 井口虎太郎

私が慶應義塾大学を志したのは高校2年の冬でした。春日柔道クラブの同期である入道からの誘いで慶應義塾大学の練習に初めて参加した時、塾柔道部の和気藹々としながらも練習に真剣に打ち込む雰囲気惚れ込んでしまいました。その場で志望校を慶應に決め、受験勉強を始めました。初めは一般入試とAO受験の両立は困難だと思ったのですが、高2の2月に先輩方と相談しAO受験を決意します。

AO入試の対策は、週1、2回15分程度のzoomで志望理由書などを先輩方に添削していただくというサイクルで2月から8月まで続けました。当時、柔道と一般入試の対策で時間的余裕がなく、AO対策にはzoomを除いて週1時間程度しか割けていなかったため、「一次試験に受ければラッキーだな」とあえてAO入試には期待しないよう心がけていました。

出願から2ヶ月が経った10月28日、一次試験に合格しました。総合政策学部は面接まで1週間しかなかったため、先輩方に日吉道場でみっちり面接の対策をして頂き、結果二次試験にも合格することができました。

AO入試合格においての最重要事項は先輩方のご指導に従順であること、添削の提出期限を厳守することですが、その他に勝因が3つあると思います。1つ目は高2のうちから対策を始めたため、時間に余裕がない中でも焦らずに取り組めたことです。2つ目は自分で志望理由書を作成したため、面接時に質問の解答に困らなかったこと、先輩方に指摘していただいた改善点を反映しやすかったことです。3つ目は一般入試の対策の中で小論文や世界史に取り組んでいたため、志望理由と教養を体系化できたことです。実際、本番の面接時には柔道とフランス革命の関連性について述べました。

2月から約9ヶ月間、先輩方のご指導のおかげでなんとか慶應に入ることができ、本当に頭が上がりません。特に面接練習の時期には、稽古や早朝、深夜などあらゆる時間を私たち受験生に割いていただいたおかげで見違えるほど成長しました。今度は自分が受験生の合格に貢献できるよう、恩返しのできるサポートする所存です。



AO入試に合格して

総合政策学部1年 酒井ひろの

私が慶應義塾大学の受験を決めたのは、高校3年生の7月です。文武両道を目指していた私は、大学ではより高いレベルで学業と柔道に取り組みたいと考えていました。しかし高校のクラス順位は真ん中、目標の全国大会に出場は叶わず、どちらも中途半端で進路を決めれずにいました。

そんな中、父の勧めで慶應に見学に行きました。柔道部の存在は中学生の頃から知っていましたが、学業は勿論柔道でも活躍されている方ばかりで、私には到底無理だろうと思っていました。ですが、AO入試についてご説明を頂いたこと、部員一人一人が自主性をもって柔道をしている姿を見て、慶應で柔道を続けたいと思い、受験を決めました。

一次試験の締切まで残り一ヶ月という限られた時間で、志望理由書2000字・自由記述2枚・3分の自己PR動画を作成しなければなりませんでした。添削指導や提出日の直前まで修正を手伝って頂くなど、先輩方の多くのサポートのおかげで提出、そして一次合格を頂きました。その後毎日日吉道場に通り、夜遅くまで面接練習をして頂きました。そもそも一次に受かると思わなかった為、二次はチャレンジの気持ちでした。もう今後来ることは無いのだろうと思いつつ、駅から道場までの坂道を踏みしめて歩いたことは鮮明に覚えています。先輩方からの熱心な指導と励ましの言葉を受け、絶対に合格しようと、諦めず何度も対策しました。一次資料作成前の自己分析、資料作りを通してSFCでの計画や慶應でなければならない理由を明確にしていた為、本番でも緊張せず伝えることができました。その結果、二次試験も無事に合格を頂きました。合格発表の日は期末試験1日目でしたが、どうしても良くなるくらい嬉しく、そして今までの自分が全て報われた気持ちでした。

AO入試を通して、自分自身と向き合えたこと・意見や想いを言語化し人に伝える力がつき、人間的にも成長することができました。

合格にあたってサポートをして下さった監督、先輩方や、高校の先生方、そして両親には感謝しております。本当にありがとうございました。



AO 入試に合格して

総合政策学部1年 坪根和海

AO 入試に合格して私が、慶應義塾大学の AO 入試を目指そうと決意したのは、高校2年生の冬です。敬愛高校の先輩が、慶應義塾大学で、柔道と勉強の文武両道を体現していたという話を高校の監督から伺ったのがきっかけです。私自身、中高と勉強と柔道の両立に力をいれてきたため、大学でも勉強と柔道を高いレベルで行いたいと考えていました。塾柔道部の練習を見に行ったら、先輩方が個々の課題と全体の課題を学生自身で見つけ、課題を解決するための練習メニューを立て、自主的に取り組んでいる姿をみて憧れを抱きました。同時に、慶應義塾大学で、勉強と柔道の両立を行い、自身の夢を追いかけてながら、全国大会に出場し活躍したいという熱い思いをもちました。

受験期を振り返ると、2000字の論文、自由記述とプレゼンテーションビデオの作成等の1次書類作りと面接練習、そして2度の不合格を味わうなど決して簡単なものではなく、非常に精神的にも身体的にも苦しかったのを覚えています。しかし、監督をはじめ、先輩方が論文の書き方、面接の話し方、伝え方を含め1から丁寧に教えてくださり、3度目のAO入試の挑戦の際にも、快くサポートしてくださったおかげで、春のAO入試で合格を勝ち取ることができました。合格にあたり、監督をはじめ、先輩方、サポートしてくださったすべての方々に感謝しています。

AO入試は学力だけに寄らない総合的な評価を受けられるだけでなく、自身の強みや弱み、将来について1から考えることができるなど自分を見つめなおすこともできます。また、SFCのAO入試は提出する書類が多く大変ではありますが、文章力や図や表を使っての表現の仕方、熱意を伝えるための話し方など入試以外の部分で必要になってくる力を身に着けることもできるのが良さと私は思います。私自身、勉強と柔道の文武両道に力を入れながら、今後受験を迎えるAO入試志願者を全力でサポートし、塾柔道部に貢献できるように努めてまいります。



就職活動を終えて（東海旅客鉄道株式会社）

経済学部4年 森井浩太

私の就職活動のゴールは、『悔いのない就職活動にすること』でした。

その上で、私はモチベーション維持のために、「就職活動＝恋愛」だと捉え、活動していました。例えば、ESはラブレター、インターンシップはデート、面接は告白みたいに、色々と置き換えていました。就職活動の敵は自分であり、飽きてしまったら気持ちも質も落ちてしまうからです。

人生を決める大事な岐路を自分で選択する。

では、なぜJR東海にしたのか。大きく3点理由がありました。

1点目は、「東海道新幹線」と「在来線事業」、「関連事業」の3つの柱を軸に、国を支え、そして稼ぎ、「リニア中央新幹線」や「高速鉄道の海外展開」という2つの大きな夢に会社全体で挑戦している姿勢に強く共感したからです。

2点目は、唯一「時間軸を変えることが出来る会社」だからです。「単身赴任の概念」ひいては「家族の在り方」をも変えることができる。これを実現できるのは、唯一無二のアセットであるリニア中央新幹線だけであり、その事業に携わることが出来るなんて、人生の財産になると思いました。

3点目は、「人の良さ」でした。延べ30名の社員さんとお会いし、人柄の良さを肌で実感することができました。特に、社員さん全員が「日本をよりよくしたい」という明確な目標を持っており、同じベクトルを向いて業務に取り組んでいるところも、人として尊敬でき、この会社で働きたいと率直に思いました。

これらの理由以外にも、子供に分かりやすい仕事であるとか、人の感情を身近に感じる事が出来るなど、多くの理由がありました。もちろん良い部分だけでなく、変えなければいけない部分もあります。それらも含めて、人生をかけて働くことが出来る会社だと思いました。

末筆ではございますが、鬼谷先輩をはじめ、メンターの辻先輩、九津見先輩など沢山のOBOGの方のご尽力によって『悔いのない就職活動』を終えることができました。決して1人では就職活動は成り立ちません。この場を借りて厚く御礼申し上げます。

就職活動を終えて（三菱地所株式会社）

環境情報学部4年 依田絃希

環境情報学部4年の依田絃希です。この度は、私の就職活動について執筆させていただきます。私が就職活動を開始したのは3年の12月からでした。まず私が行ったのは自己分析です。自分の強みや向いている事、またどのように生を歩んできたのかなど、改めて言語化をすることで自身を見つめ直しました。

その後、最も注力したのがOB訪問です。體育會柔道部の先輩方をはじめ、たくさんの方にお時間をいただきお話をお聞きしました。様々な業界のOBの方に訪問を行う事で、会社説明会やインターネット以上の情報を集めることができました。

その結果、就職活動のための知見だけでなく、社会についての常識や知識を身に着けることができ、一人間として大きく成長できたと考えています。

多くの人のお力を借りたことで、第一志望であった三菱地所株式会社に内々定を頂く事ができました。両親の影響もあり、家や建物を通して多くの人に“形を持って幸せを届けたい”という思いがより幅広く形作れると思い入社を決意いたしました。“またもう一度ココに来たい”、“この場所に来ると幸せになる”と思ってもらえるような街づくりができるよう精進していきます。

繰り返しになりますが、多くの方々のご協力があったからこそ大変満足のいく結果で就職活動を終えることができました。就職活動メンターの先輩方、OB訪問でお世話になった先輩方、同期、友人にこの場を借りて厚く御礼申し上げます。ありがとうございました。

就職先リスト（2022年度卒含む）

(銀行・証券)	関西電力 1	本田技研工業 1
三菱東京 UFJ 銀行 6	中部電力 1	キーエンス 1
三井住友信託銀行 5	四国電力 2	SONY 1
三菱 UFJ 信託銀行	JX エネルギー 1	UACJ 1
野村証券 3	(IT・通信)	(その他)
HIS 協立銀行 1	NTT 1	慶應病院
みずほ銀行 7	TIS 1	JTB
マッコーリーキャピタル証券 1	富士通エフサス 1	警察庁
信金中央金庫 1	(建設・不動産)	日本総合研究所
静岡銀行 1	三井不動産 1	日経リサーチ
千葉銀行 1	三菱地所 2	国際協力事業団
(生保・損保)	野村不動産 2	資生堂
東京海上日動火災保険 13	三井不動産ビルマネジメント 1	塩野義製薬
日本生命 3	鹿島建設 1	学習院初等科
明治安田生命 2	(百貨店)	桐蔭学園高校
住友生命 1	高島屋 2	写真家
損保ジャパン日本興亜 1	(食品・飲料メーカー)	井田産業
(マスコミ・出版)	サントリー 9	東急ホテルズ
フジテレビ 3	味の素 8	JK ホールディングス
NHK 2	明治 1	マスミフードサービス
TBS 2	宝酒造 1	ヴァンテージマネジメント
電通 2	キリンビバレッジ 4	ニトリ
文芸春秋 1	(その他のメーカー)	
(商社)	三菱電気 1	
三井物産 8	キャノン 1	
三菱商事 5	シャープ 1	
伊藤忠商事 4	東邦チタニウム 1	
丸紅 2	トンボ楽器 1	
双日 1	リコー 1	
(航空・海運・交通)	横浜ゴム 1	
全日本空輸 1	日産自動車 1	
日本郵船 1	アドバンスト 1	
近畿日本鉄道 1	富士通 2	
JR 東日本 1	日鉱金属 1	
JR 東海 1	新日鉄 1	
(エネルギー)	積水ハウス 1	
東京電力 2	旭化成 1	
九州電力 4	ワコール 1	

慶應義塾體育會柔道部に関する問い合わせ

慶應義塾體育會柔道部に関するご質問等につきましては、お気軽に下記問い合わせ先までお願いいたします。

<柔道部共通メールアドレス>

keiojudostorage@gmail.com

<Instagram>

@keio_judo

<Twitter>

@KeioJudoAccount

<Facebook>

慶應義塾體育會柔道部

<HP>

慶應義塾体育会柔道部 準公式ホームページ

<http://keiojudo.net/athletic/>

- ・慶應義塾大学體育會柔道部合宿所

郵便番号 223-0064

住所 横浜市港北区下田町 1-16-3 柔道部合宿所「六徳舎」



- ・慶應義塾大学柔道場

郵便番号 223-0061

住所 神奈川県横浜市港北区日吉 4 丁目 1-3

慶應義塾大学日吉キャンパス体育館 2 階



慶應杯通信作成委員会

代表者	商学部 3 年	平山雅士	Mail : masashi1021@keio.jp
	経済学部 2 年	小林謙太	
	経済学部 2 年	土屋文乃	
	総合政策学部 2 年	澤田康太	
	文学部 2 年	松永蓮太郎	
	法学部 2 年	進士凱一	
	商学部 1 年	入道隼人	
	法学部 1 年	西木沙耶加	